

2. 議会に関する意見・要望等について

No.	会場	質問内容	当日の回答内容	議会回答	担当課	所管委員会
(1) 議会全般に関すること						
1	小原公民館	白石市議会では、政務活動費があるのか。	一人あたり月5,000円で、最大で年6万円の支給を受けることができます。	当日の回答のとおりです。	議会	議会
2	大平公民館	まちづくりの観点で、条例制定するくらいに努力されることを議員に要望したい。	政策提言は本会議でおこなっています。まちづくりの観点は、一般市民の方々と議員でテーマごと、議会基本条例の「一般会議」等を活かして、知恵を出し合えばいいかなと考えます。政策企画調整会議を設置していますので、皆さんからいただいたお話をまとめさせていただきます。	各議員で、それぞれ調査・研究をし、本会議や一般質問において市政を質しております。また、「一般会議」において、市民のみなさまからご意見をいただき、条例制定など政策提言につなげていきたいと考えています。	議会	議会
3	斎川公民館	議員全員が市長与党のような感じがする。もうちょっと市当局対して、トゲトゲしくあってもいいのではないのか。	承ります。	議会基本条例では、市長等との関係は緊張関係を保持することを明記しております。議会での審議の際は、詳細な説明を求めるなど市民目線で納得する議論を行っており、今後も、市民のためにより良い議会運営に努めてまいります。	議会	議会
4	大平公民館	議員には、行政チェック、市民の声を聴くなどのほか、条例をつくる役割もある。他の市では、まちづくりを踏まえた条例がつくられている。議会・議員には、地域振興としてのまちづくりに尽力してほしい。	議会基本条例をつくり、改革実践に進み出せました。今後にご期待ください。市の発展に結びつくような条例を作りたいものですが、議員のみでつくれるものでないので、市民のみなさんの知恵をいただきながらと考えます。議会基本条例で定めた「一般会議」を活用し、検討していけるよう議員間で話し合いたいと考えます。	当日の回答のとおりです。市議会では、議会改革を進めるため、昨年12月に議会基本条例を制定しましたので、今後も議会改革は進めてまいります。議会としても、しっかり市民のみなさんの声を市政に反映させていきたいと考えております。	議会	議会
5	大平公民館	現在、かつてないほどの外国人が来白している。キツネ村には、20代の女性を中心に6～7割が外国人で、鎌先温泉に宿泊している。これを好機ととらえ、一過性の集客から滞在型の宿泊等にもっていくように、議員の皆さんで検討していただきたい。	弥治郎にも「こけ女」といわれる若い人たちが来ています。白石は他から人を連れてこないといけないと考えます。また、女性観光客の視点は、大切と考えます。議会基本条例で設けた「一般会議」で、市民の方々と、このようなテーマで意見を聴きながら知恵を出し合い、まちづくりにつなげていきたいと考えます。	議会でもこの機会を好機ととらえ、議員間や市民のみなさまからご意見をいただき、検討していきたいと考えています。	議会	議会

No.	会場	質問内容	当日の回答内容	議会回答	担当課	所管委員会
(2) 電子投票に関すること						
6	大平公民館	電子投票の条例について、大方の議員が賛成した電子投票条例が運用されずに凍結が続いている。選挙ごとに投票方式を協議しなければならず、単に凍結にしておくという問題ではないと思うがどうか。	全国的に普及せず扱う業者も限られ、経費が紙の投票に比べ割高のため、いろいろ考えた結果、一旦、紙投票に戻ろうとなった経緯があります。議員でもう一回考えを出し合い、方向付けを話し合いたいと思います。持ち帰らせていただきます。	<p>第388回市議会定例会（平成22年9月定例会）において、議員提案により平成23年実施の市議会議員選挙について、電子投票の休止を決めました。その後、第396回市議会定例会（平成23年12月定例会）では、市長提案で平成24年4月1日以後に実施される市長選挙や市議会議員選挙について、電子投票の休止を決めました。</p> <p>これは、国が推進する電子投票の普及・促進が図られないことや財政負担の抑制からそれぞれ条例を改正し、休止を決めたものです。</p> <p>第396回市議会定例会での条例改正は、電子投票の休止を「当分の間」として、国が積極的に取り組み姿勢が見え、競争原理が働くようになるまで適用を見合わせるものとして改正しております。</p> <p>ご質問にある市議会議員選挙毎の投票方式の協議については、この条例改正により必要なく適用されるものと考えます。</p>	議会	議会
(3) 議会改革に関すること						
7	深谷公民館	人口が減少している。議会改革の一環で議員定数削減の考えは持っていないのか。	<p>議員定数に関しては、人を減らして報酬を高くするか、定数を減らさず報酬を下げるのか両方の意見があります。要は、いかにすれば議会に若く有為な人材が意欲をもってもらえるかです。</p> <p>過去2回の選挙毎に続けて定数削減はしてきており、現在の18名が境目ではないのかと考えます。</p>	<p>当日の回答のとおりです。</p> <p>今後は、社会情勢の変化や人口減少などを考慮し、現在の定数が適正であるかも含め、議会改革を継続していきたいと考えています。</p>	議会	議会

No.	会場	質問内容	当日の回答内容	議会回答	担当課	所管委員会
8	中央公民館	平成23年12月に「議会改革によるアンケート」で、議員の行政視察研修に職員 の随行を希望している議員がいたが、その理由はなぜか。 また、平成22年の政務活動費によって購入した本「議員力マスター検定」の感想を聞きたい。	他の市町村から視察の来られた場合、職員が随行して来ます。 市議会として行政視察を行う場合にも、受け入れる行政から「職員さんはいらっしやらないのでしょうか」と聞かれます。 相手に失礼にあたらないように職員も随行させるべきと考えます。 購入書籍については、地方自治法や議員力マスター検定試験対策に必要な議員としての知識などを深めることができた書籍でした。	当日の出席議員個人に求められた意見ですので、議会としての回答はありません。	議会	議会
(4) 議会基本条例に関すること						
9	福岡公民館	議会基本条例を市民に知らせてほしい。	各公民館などに配布しているので見ていただきたい。 ※1月号の広報（第176号議会だより）にも掲載してあります。	各公民館には、告示（掲示）分として送付しております。 また、1月号の議会広報では議会基本条例の概要版として掲載しました。 市議会の議会改革特別委員会のホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。（全戸配布等は難しいため、公民館へ10部程度の配布をおこないます。）	議会	議会
(5) 意見交換会に関すること						
10	中央公民館	意見交換会は、過去もやっていたが、どうして継続してやらないのか。今年が選挙の年だから久しぶりに実施したのか。	以前実施した「意見交換会」は、有志議員グループが主催したものです。 今回は、議会主催の「意見交換会」です。 昨年、議会基本条例を制定したため、今後 も継続して実施していきます。	当日の回答のとおりです。	議会	議会
11	深谷公民館	意見交換会は、今後、年3回くらい計画してほしい。 日程は、日曜日の日中の方が参加者は多いと思う。	今回出された意見等を1回整理し、今後については、議員全員で協議させていただきます。	今回が初めて意見交換会の開催でした。 意見交換会で、市民のみなさまからでた意見や要望に答えるため、各委員会において調査・検討をし、議会から市への政策提言へとつなげるためには時間がかかることが考えられます。 議会基本条例では、「年1回以上」としており、開催日程等も含め、今後検討していきたいと考えています。	議会	議会

No.	会場	質問内容	当日の回答内容	議会回答	担当課	所管委員会
12	大鷹沢公民館	意見交換会を一回だけでなく、年に2回、3回とやってもらいたい。	議会基本条例では「年1回以上」となっています。年に2回、3回と開催をし、意見交換会を続けていきたいと考えています。	今回が初めて意見交換会の開催でした。意見交換会で、市民のみなさまからでた意見や要望に応えるため、各委員会において調査・検討をし、議会から市への政策提言へとつなげるためには時間がかかることが考えられます。 議会基本条例では、「年1回以上」としており、開催日程等も含め、今後検討していきたいと考えています。	議会	議会
13	中央公民館	地方創生に期待しているし、今後もこの意見交換会を2回、3回と継続してほしい。	議会基本条例に書かれていることから、今後も「市民との意見交換会」を継続いたします。	当日の回答のとおりです。	議会	議会
14	深谷公民館	今後、白石市は何で生きて行こうとするのか。農業、工業、観光業など、一つの重点目標を持たないのが欠点だろう。市長・議員だけでなく市民を巻き込んだ意識の改革が必要で、そのためには、こういう会合を何度も重ねることが大切である。みんなで盛り上げて『白石をつくる』源を作ってもらいたい。	承ります。	貴重なご意見をいただきましたので、今後も議会改革を継続し、意見交換会や一般会議などをおこない、市民のみなさまからの意見や提言などを議会での政策提言につなげ、より良い議会、より良い白石市をつくるため努力してまいります。	議会	議会
15	白川公民館	震災の時にこのような意見交換会をやってほしかった。震災当事、屋根瓦工事を市内業者が間に合わなく補助事業が使えなかった。 今後はこのような事は起きないようにしてほしい。	承ります。	東日本大震災のような大規模災害時にこのような意見交換会の開催は難しいと考えます。 そのため議会では、大規模災害時の議員行動マニュアルを策定しており、議員は地域の一員として市民の安全確保と応急対応等にあたり、地域における共助の取り組みが円滑に行われるよう努めることとしております。	議会	議会
16	深谷公民館	【三住自治会】意見交換会はチラシ回覧でしたが、見ていない方が多い。ただ、回せばいいとして出したのではだめである。 市民にわかり易く伝わるように工夫する、格好のいい伝達をしてもらいたい。	承ります。	次回開催時のお知らせは、配布方法の検討やポスターの掲示など、市民にわかり易い工夫をおこないたいと考えています。	議会	議会

No.	会場	質問内容	当日の回答内容	議会回答	担当課	所管委員会
(6) 農業に関すること						
17	大鷹沢 公民館	<p>TPP問題下の米づくりについて、TPP問題が毎月報道され、今、米生産者にとってこれまで経験したことのないほど、米価が下がり苦境にある。</p> <p>白石が衰退の一途をたどるのではないかと心配している。議員にはがんばってもらいたい。</p>	<p>TPPは反対としても国の交渉ごとです。農業だけでなく工業、その他何から何までの貿易交渉です。私たちに一番近いのは農産物のコメですが、現在、国の交渉がどこまで進んでいるか分かっていません。</p>	<p>TPP交渉は確かに国の交渉ですが、議会でもTPPを含む農業については議論をしております。</p> <p>本市のみならず、日本の農業が衰退しないためにも、議会でもさらに議論を重ね、独自の支援策の検討や国へ要望するなど、今後も努力してまいります。</p>	議会	議会
(7) 子育てに関すること						
18	福岡 公民館	<p>あそびの森の経営者は、市長の身内でありいかなるものか。国・県などの補助金もある。</p> <p>入札は公開して行われたのか、落札した経緯は。</p> <p>議員はしっかりチェックせよ。</p>	<p>入札は、全国公募で公開実施されました。応募は落札者以外いませんでした。</p>	<p>議会でも議論はされましたが、適正な事業者決定がされたものと判断しております。</p> <p>市では「白石市立保育園の民営化方針」に基づき、市のホームページにより民間保育園の運営事業者を全国から募集しました。</p> <p>市には数件の問い合わせがありましたが、結果として応募された法人は1法人のみであり、白石市民間保育園設置運営事業者選考委員会で審査・評価し、最終的に事業者として決定しております。</p>	議会	議会
(8) その他の議会に関すること						
19	中央 公民館	<p>白石市の人口が増えない問題は、白石が住みにくいことが原因である。白石は、人と人との繋がりが少ない。また、市役所にも相談しにくい。</p> <p>とにかく、企業誘致をしっかりとやってほしい。</p> <p>また、沖の沢郡山線の植栽について、集水枒に枯葉が詰まっている。</p> <p>議員は、もっと市内を歩いて見てほしい。</p>	<p>人間関係の希薄化は、非常に難しいことです。若い世帯で自治会に入らない方々など、簡単には解決しないことと考えます。</p> <p>その他については、持ち帰らせていただきます。</p>	<p>当日の回答のとおりです。</p> <p>企業誘致については、議会でも積極的に議論しており、市当局と一緒に新たな企業の誘致に努めてまいります。</p> <p>また、沖の沢郡山線でのご意見は、議員活動に対するご意見として強く受け止め、市の発展のため努力してまいります。</p>	議会	議会

No.	会場	質問内容	当日の回答内容	議会回答	担当課	所管委員会
20	深谷公民館	選挙時に議員は市民に向かって活性化と言うが、実際出席の議員は、何をもちいて白石市の活性化になると考えているのか、一言ずつ聞きたい。	<ul style="list-style-type: none"> ●根本には、人口減少問題です。地方創生の交付金を活用して、若者の仕事づくり、流出を止め、ふるさと回帰を促す環境を整えることと考えます。 ●人口の減少を前提に地域の産業、農業や林業を見つめ直し、若い人たちに仕事場をつくること、「地域おこし協力隊制度」を活用した地域支援が有効かと考えます。 ●人口減少は避けられません。交流人口策にもなりますが、鮭が溯上する白石川の実現を考えています。 ●市税収入等の自主財源なく経常経費の確保が優先され、攻めの施策がないので、市内に資金投下すべきです。また、白石にあった高齢者対策、例えばコンパクトシティなど具体施策が求められています。 ●決め手が見つからない。地方創生で先行的にプレミアム付き商品券の発行を予算化したのが、これは一過性のものであり、白石独自のものを考えないといけないと考えます。 ●プレミアム付き商品券はその時だけと考えます。「鬼小十郎まつり」は、全国からたくさんの観光客で賑わっていますが、これに続くものが必要だと考えます。 	当日の出席議員個人に求められた意見ですので、議会としての回答はありません。	議会	議会
21	大鷹沢公民館	今回、市政の課題として意見交換を行いました。議員の皆さんの所属は別として、市の問題・課題について、一言ずつでお話しいただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少対策だと思っています。職がないため若者が流出し、高齢・少子化が顕著です。地方創生で白石版戦略を立て、若者が定着、都会から回帰する環境を整えることが求められています。 ●人が大事、教育が大事で、子育て支援が重要と考えています。充実した自治体には、企業進出も期待できます。 ●少子化対策、人口減対策は避けて通れない問題です。市から転出しない政策を考えていかないといけない。それと交流人口の増加策です。 	当日の出席議員個人に求められた意見ですので、議会としての回答はありません。	議会	議会

No.	会場	質問内容	当日の回答内容	議会回答	担当課	所管委員会
			<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少の歯止めがかからないこと、自主財源が確保できなく歳入が減ってきていることです。 ●人口減少は10年前から言われており、市の予算の4割が民生費支出です。それで、みづからが主体的に動いて、10年後の老人対策が大事と考えます。 ●白石市の好条件をいかに活用するか、人口減少、少子化対策です。 			